

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

「食」

今年のテーマ「食文化と遊び」

文化の伝承

お米を自分達の手で作る。
 自分達の手で刈り取り、自分達
 の手で料理して食べる。

この一通りの作業を中学生
 高校生・小学生も一緒になっ
 て作る。こんな楽しいことは
 学校の授業にはない。

東日本大震災で大変な生活
 をしている人達からすれば、なんて
 幸せだろう。



2011/06/03

「ジ」と
 みある
 畑に
 田圃
 中
 あ
 と
 か
 時間
 にか
 一
 な
 だ。



2011/06/03



2011/06/05

昨年は代掻きと田植
 と二請に実施。配
 反が2年のお米が
 採れた。今年はや
 り時間を取って、
 米アリの初んてい
 一年二年進歩して
 鉄則は手アリの約
 今年の結末はどうか

そこじや
 なりよ
 もと
 こころ

世界の人口は約66億人
 国連の人口推計だと現在
 10歳の子どもの労働力盛
 りの40歳代になるころに
 は約85億人になる。
 だが食料増産の見通し
 は明るくない。
 東地拡大には限界があり
 地球温暖化の農水産業へ
 の影響も心配されるからだ。
 自給の食事が世界の食糧

問題や地球環境に
 関係ある。どう想像
 力を働かせる必要
 必要ではないか。
 選べるなら近くで作
 られた食べ物を買っ
 という気持ちを持
 無理しないのが長
 続きのコツと
 いわゆる地産地消
 だ。もう食品廃
 棄の削減。

はじめて
 田うえや
 ので、
 これば面白い



2011/06/05



2011/06/05

お兄さんお姉さん達の代掻きしたあとに
 小学生達が田植をした。はじめての田植え。